

県民の皆様及び事業者の皆様へのお願い

全国では、東京を中心とする首都圏や沖縄での感染拡大が顕著ですが、全国的にはほぼ全ての地域で新規感染者数が急速に増加しており、これまでに経験したことのない感染拡大が継続しています。

本県でも、感染の第5波に入っており、感染の拡大に歯止めがかからない状況が続いているため、8月12日に最上地域、置賜地域及び庄内地域の注意・警戒レベルを1段階引き上げ、県内全地域をレベル4（特別警戒）としたところです。県内における感染の拡大を食い止めるため、引き続き、以下のことについてご理解、ご協力をお願いいたします。

1 感染予防対策の一層の徹底について

- ・ 県民の皆様には、感染力が極めて強いデルタ株などの変異株を厳重に警戒していただき、不織布マスクの着用や、こまめな手洗い、消毒、三密の回避、換気の励行など基本的な感染防止対策をこれまで以上に徹底してお願いいたします。
- ・ ワクチン接種率の向上とともに高齢者の新規感染例は減少しました。ただし、ワクチンの効果は高いものの100%ではありません。県内でも2回のワクチン接種を終えた後に、新型コロナに感染した事例が複数確認されています。ワクチン接種を終えた方も、引き続きマスクの着用など基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。
- ・ 事業者の皆様には、従業員の健康管理をはじめ、「業種別の感染拡大予防ガイドライン」遵守の徹底をお願いいたします。

2 感染が多い地域との往来について

- ・ 政府の緊急事態宣言の対象区域（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、沖縄県）やまん延防止等重点措置の対象区域（北海道、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、石川県、静岡県、愛知県、滋賀県、京都府、兵庫県、福岡県、熊本県）との不要不急の往来は、控えてください。（8月31日まで）
- ・ 直近1週間の10万人あたりの新規陽性者数が15人以上（政府のステージⅢの指標）となっている地域(※)との往来は、十分に注意してください。
※ 8月13日時点で直近1週間の10万人あたりの新規陽性者数が15人以上の地域：青森県、岩手県、宮城県、新潟県、富山県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、三重県、奈良県、和歌山県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県
- ※ なお、いずれも通勤通学などのための往来は除きます。
- ・ 人流減少のため、時差出勤やテレワーク、オンラインを積極的に活用してください。

- ・ 往来が必要な場合でも、訪問先では、基本的な感染防止対策を徹底し、会食は控えてください。
- ・ 県外（特に感染が多い上記の地域）からの来県者との会食は控えてください。

3 夏休みやお盆等の期間における旅行、帰省等について

デルタ株が猛威をふるう今年の夏は昨夏以上の警戒が必要であり、ご自身と大切な方々、ふるさとを守る夏にするために、以下のことについて、ご協力をお願いします。

- ・ 旅行、帰省や仕事も含め、県境をまたぐ不要不急の移動は、ご家族等とも慎重に相談し、「行かない」「呼ばない」「延期」の選択をしてください。
- ・ ご家族やご親族に、体調が悪い時の帰省や、感染が多い地域からの帰省は控え、電話やオンライン帰省を活用するようお伝えください。
- ・ どうしても県境を移動する必要がある場合には、行先で感染しない、広げない対策を徹底し、帰省した場合でも、できるだけ実家で過ごしてください。
- ・ 体調の変化があった場合には、医療機関に事前連絡してから受診し、新型コロナウイルスの検査を受けてください。なお、従来は発熱・のどの痛み・咳、味覚の消失などの症状が意識されましたが、腹痛や下痢、倦怠感などが主症状になる場合もあります。

4 会食等について

- ・ 正しいマスクの着用、こまめな手洗い、消毒、三つの密の回避など基本的な感染防止対策を徹底してください。
- ・ 会食は、新型コロナ対策認証施設等、感染対策が講じられたお店で、少人数・短時間、マスク飲食などを徹底して行ってください。

マスクを外した会話・会食・カラオケが、最大の感染リスクです！

【会食における感染防止の取組み】

- ・ 普段一緒にいる人と、少人数・短時間で
- ・ 会場は、業種別ガイドラインを遵守している施設で
- ・ 会話の際はマスクを着用する
- ・ 体調が悪い人は参加しない
- ・ 飲酒を伴うカラオケは控える
(弁当やテイクアウトを活用する)

5 持病のある方等の感染防止について

持病のある方及びそのご家族は、会食をできる限り控えてください。

なお、以上の取組みについては、今後の感染状況等を踏まえ、内容を見直す場合があります。

以上